

かしま 議会だより

第63号

■発行 佐賀県鹿島市議会 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1 TEL63-2104 FAX63-2314
■編集 議会だより編集委員会 ■印刷 倉崎印刷

平成23年1月



消防団年末警戒（消防団長巡視）



今回の記事・企画

会期日程・定例会議案と審議結果	2～3P
議案審議	4P
議案審議・一般質問	5P
一般質問	6～8P
報告	9P
行政視察報告	10P
議会あれこれ・議長交際費	11P
市議会報告会・編集後記	12P

(18) 議案第69～70号	市道の線変更について(5路線)
(17) 議案第64～68号	市道の路線認定について(4路線)
(16) 議案第60～63号	市道の路線認定について(4路線)
(15) 議案第59号	平成22年度鹿島市水道事業会計補正予算(第1号)について
(14) 議案第58号	平成22年度鹿島市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について
(13) 議案第57号	平成22年度鹿島市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について
(12) 議案第56号	平成22年度鹿島市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)について
(11) 議案第55号	平成22年度鹿島市一般会計補正予算(第5号)について
(10) 議案第54号	鹿島市伝統的建造物群保存地区における建築基準法の制限の緩和に関する条例の制定について
(9) 議案第53号	鹿島市伝統的建造物群保存地区における建築基準法の防火上の制限に関する条例の制定について
(8) 議案第52号	鹿島市基幹農道管理条例の制定について
(7) 議案第44号	平成21年度鹿島市給与管理特別会計歳入歳出決算認定について
(6) 議案第43号	平成21年度鹿島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
(5) 議案第42号	平成21年度鹿島市老人保健特別会計歳入歳出決算認定について

(30) 意見書第5号	子ども手当財源の地方負担に反対する意見書(案)
(29) 意見書第4号	環太平洋経済連携協定(TPP)交渉参加への慎重な対応を求める意見書(案)
(28) 決議第3号	諫早湾干拓事業に対する福岡高裁の判決を受けて、上告を断念するとともに、中・長期開門調査の早期実施を求める決議(案)
(27) 議案第79号	平成22年度鹿島市公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)について
(26) 議案第78号	平成22年度鹿島市一般会計補正予算(第6号)について
(25) 議案第77号	蟻尾山公園の指定管理者の指定について
(24) 議案第76号	鹿島市肥前浜宿継場の指定管理者の指定について
(23) 議案第75号	鹿島市干潟展望館の指定管理者の指定について
(22) 議案第74号	鹿島市勤労者福祉センターの指定管理者の指定について
(21) 議案第73号	鹿島市休日こどもクリニックの指定管理者の指定について
(20) 議案第72号	鹿島市高齢者福祉施設一本柿荘の指定管理者の指定について
(19) 議案第71号	第5次鹿島市総合計画の基本構想及び基本計画について
(18) 議案第70号	第5次鹿島市総合計画の基本構想及び基本計画について

下表の議案を審議し決定しました

【12月定例会】

		松田義太	松尾勝利	松本末治	光武学	馬場勉	森田和章	徳村博紀	福井正	水頭喜弘	橋川宏彰	中西裕司	谷口良隆	小池幸照	松尾征子	中村雄一郎	橋爪敏	採 決 結 果	
議案第 38 号	(継続審査議案) 平成 21 年度 鹿島市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	認定
議案第 39 号	(継続審査議案) 平成 21 年度 鹿島市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	認定
議案第 40 号	(継続審査議案) 平成 21 年度 鹿島市谷田工場団地造成・分譲事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	認定
議案第 41 号	(継続審査議案) 平成 21 年度 鹿島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	認定
議案第 42 号	(継続審査議案) 平成 21 年度 鹿島市老人保健特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	認定
議案第 43 号	(継続審査議案) 平成 21 年度 鹿島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	認定
議案第 44 号	(継続審査議案) 平成 21 年度 鹿島市給与管理特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	認定
議案第 52 号	鹿島市基幹農道管理条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	原案可決
議案第 53 号	鹿島市伝統的建造物群保存地区における建築基準法の防火上の制限に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	原案可決
議案第 54 号	鹿島市伝統的建造物群保存地区における建築基準法の制限の緩和に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	原案可決
議案第 55 号	平成 22 年度 鹿島市一般会計補正予算(第 5 号) について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	原案可決
議案第 56 号	平成 22 年度 鹿島市公共下水道事業特別会計補正予算(第 3 号) について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	原案可決
議案第 57 号	平成 22 年度 鹿島市国民健康保険特別会計補正予算(第 3 号) について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	原案可決
議案第 58 号	平成 22 年度 鹿島市後期高齢者医療特別会計補正予算(第 1 号) について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	原案可決
議案第 59 号	平成 22 年度 鹿島市水道事業会計補正予算(第 1 号) について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	原案可決
議案第60～63号	市道の路線認定について(4 路線)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	原案可決
議案第64～68号	市道の路線変更について(5 路線)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	原案可決
議案第69～70号	市道の路線廃止について(2 路線)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	原案可決
議案第 71 号	第5次鹿島市総合計画の基本構想及び基本計画について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	議長	賛成全員	原案可決
議案第 72 号	鹿島市高齢者福祉施設一本柿荘の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	原案可決
議案第 73 号	鹿島市休日こどもクリニックの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	原案可決
議案第 74 号	鹿島市勤労者福祉センターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	原案可決
議案第 75 号	鹿島市干潟展望館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	原案可決
議案第 76 号	鹿島市肥前浜宿継場の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	原案可決
議案第 77 号	蟻尾山公園の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	原案可決
議案第 78 号	平成 22 年度 鹿島市一般会計補正予算(第 6 号) について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	原案可決
議案第 79 号	平成 22 年度 鹿島市公共下水道事業特別会計補正予算(第 4 号) について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	原案可決
決議第 3 号	諫早湾干拓事業に対する福岡高裁の判決を受けて、上告を断念するとともに、中・長期開門調査の早期実施を求める決議(案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	原案可決
意見書第 4 号	環太平洋経済連携協定(TPP) 交渉参加への慎重な対応を求める意見書(案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	原案可決
意見書第 5 号	子ども手当財源の地方負担に反対する意見書(案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	原案可決

○…賛成 ×…反対 退…退席 欠…欠席 除…除斥(監査委員のため審議に参加できない)

12月定例会

平成22年鹿島市議会
11月臨時会会期日程

1.会期
平成22年11月30日(1日)
2.日程

【11月】
30日・開会
11月30日 国の人事院会の勧告を受けて市職員・三役・議員の給与並び報酬引き下げについての臨時会が開催された。

平成22年鹿島市議会

12月定例会会期日程

1.会期
自 平成22年12月2日
至 平成22年12月22日
2.日程

【12月】

2日・開会
・会議録署名議員の指名
・会期の決定
・議案の一括上程
(市長の提案理由説明)
3日・休会(議案研究)
4日・休会
5日・休会
6日・休会(議案研究発言
内容通告締切(正午)
7日・休会(議案研究)
8日・委員長報告、議案

議 案

(1) 議案第38号 平成21年度鹿島市一般会計歳入歳出決算認定について
(2) 議案第39号 平成21年度鹿島市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
(3) 議案第40号 平成21年度鹿島市谷田工場団地造成・分譲事業特別会計歳入歳出決算認定について
(4) 議案第41号 平成21年度鹿島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
(5) 議案第42号 平成21年度鹿島市老人保健特別会計歳入歳出決算認定について

議 案 審 議

議案第71号

第5次鹿島市総合計画

福井正議員

質問一 市民会館は建設以来40年以上経過している。建て替えや、取り壊し、耐震補強などの選択肢があるがどのようなのか。

答弁一 市民会館について、23年度に検討委員会と協議する。



質問二 肥前鹿島駅及び駅前整備の記述があるが、どのような整備か。

答弁二 駅のバリアフリー化やトイレ整備は県やJR九州と相談しながら、23年度に予算化する。駅前には交通対策とバリアフリー化に取り組む。

議案第71号

第5次鹿島市総合計画

市民生活に責任もてない

松尾征子議員

質問一 20年間の市政を変えたいと願う市民の声に応えて誕生した樋口市政。1年半前前市長の時に起案された計画の手直しでは、市民の願う市政は望めない。市民の苦しい生活が何とかならない。胸躍るものが見られない。時間的な問題もわかるが、計画作りは樋口市

政として最初からやるべきだった。

答弁一 行政の継続性がある。計画の作り直しは無理。スタッフも私（市長）を除いては変わっていない。すべてがなかった事としての計画づくりは損失。わたし（市長）なりにチェックをしている。

議案第71号

第5次総合計画について

徳村博紀議員

質問一 公共下水道は現在納富分地区109ヘクタールが整備されているが計画としては200ヘクタールとなっている。残りの91ヘクタールについては今後どのような計画があるのか。

答弁一 今後はまだ具体的な内容は決まっていない。前向きに検討したい。

質問二 以前も一般質問で雇用促進住宅の買い取りの件で質問をしたが市が買い取りの方向に進めるべきだと思うが如何か。

答弁二 現在の価格は約9千700万円と聞いている。今後は時期をみて前向きに検討したい。

議案第39号

総合計画を絵の餅にしないために

谷口良隆議員

質問一 10年越しに改定される鹿島市総合計画は、今回の5次総合計画では計画期間を5カ年に短縮して激しい時代の変遷に対応しようとする姿勢が現れている。

また、従来には無かった到達目標として「目標・指標」を、個別の施策毎に設けられたことも評価したい。

答弁一 従来の様に、絵の餅にすることが無い様、目標管理もしっかり行われたい。「目標・指標」については年度毎の目標管理を行っていく考えである。

議案第55号

園芸振興費について

松本末治議員

質問一 鹿島市一般会計補正予算（第5号）園芸振興費花き研究委託料、特産品プロジェクトで「一次産業で落ち込みが激しい「みかん」の再生のために、荒廃園対策を兼ねた「みかんの切り花・ミカンの花活用を」考えられている、その取り組みについて。

答弁一 ミカンの花は色や香りが女性のニーズに合い、咲いている間「生花」に活用する、品種により長期間利用可能である。日本で初めての試みであり「特許」にも関係する為見守って欲しい。

議案第55号

小学校費「備品購入費」について

水頭喜弘議員

質問一 早速要望を聞いてもらって予算計上されている鹿島小学校の件ですが、金管バンドが9月に金賞を取られたということと聞いていますが、6月の補正でも予算計上されていましたが、今回もホルン等があげられているが、この件についてお尋ねします。

答弁一 鹿島小学校金管バンドに6月補正でチューバを2台買い、21台の修理を行なった。今回ホルン4台等を購入した。年次計画をしていたが前倒しでやった。今後の計画として、さらに何か要望があったら話を聞いていきたい。

一 般 質 問

不況対策へ住宅リフォーム制度を



松尾征子議員

質問一 リフォーム助成制度は、11月末で175自治体へと広がっている。工事を地元業者に依頼すれば、補助金が受けられるもの。宮古市では4.5倍、横手市では8倍を超える経済効果が生まれている。鹿島市でも制度の導入を。鹿島市でも制度の導入を。

答弁一 アイデアは検討に値する。どれだけの経済効果があるか難しい。推測すれば、1.2倍から5倍といわれている。財政の制約がある中で本市としては実現は困難だといたしておりますが、今後研究していきたい。

TPP参加で

鹿島の農業は

質問二 JAからTPP参加に反対する緊急要請が出されている。完全に貿易自由化が進む事になる。農林水産省の行った農業への影響が4兆1千億円程度の減収。自給率は40%から14%へ水産物の影響を考えると13%に低下すると云う事。鹿島市の農業や他の経済に与える影響は。

答弁二 佐賀県も公表しているが県は4割の500億円の減少するという事。当市においても県に比例したくらいの極めて深刻な影響が予想される。一次産業に依存している経済構造により影響は計り知れない。

イノシシ・耕作放棄地対策



橋川宏彰議員

質問一 耕作放棄地対策として試験作物、牛の放牧、有機農業、飼料作物のこれからの展開や、どれだけ継続的に抜けていけるか市の方針は。又イノシシ対策としての実施状況は、来年度も捕獲報奨金の上乗せは継続されていけるのか。

答弁一 市においては耕作放棄地防止の為、新たな組織を作るのではなく、市、JA関係機関を網羅した担い手育成総合支援協議会で並行して検討する。21年7月15日に耕作放棄地対策事業を実施する事で決した。イノシシ対策としては、来年度も捕獲報奨金上乗せはやりたい。



一般質問

第5次総合計画について



福井 正 議員

質問一 23年度から始まる、鹿島市第5次総合計画の基本計画に、安全で機能が充実した市道整備、市道改良整備事業、大規模舗装補修事業、人にやさしい道路の整備、バリアフリー化の推進の記述がある。また都市計画市道整備計画に、幹線道路として2区間、区画街路として6区間がある、策定以来30近いが、いまだ着手されていない。これらの整備をするのか。しないのであれば、計画の見直しが必要でないか。また市街地に交通混雑し、危険な道路があるが、その対策は。

直す。交通混雑して危険な道路については、市内道路整備計画プロジェクトチームの提案も含めて検討に入る。国の補助事業、社会資本整備総合交付金事業などで採択されれば可能だと思ふ。

質問二 鹿島の観光客は320万人だが、観光消費が少ない。これを解消するには、鹿島が魅力ある観光地としての情報発信と駐車場整備、案内看板の整備、最近増加している外国人観光客誘致の為に外国語表示も必要だと思ふがどのように考えるか。

回答二 情報はインターネットや県内ケーブルTV等で情報発信している。外国語表示は考へる。

回答一 都市計画道路は、まちづくりの視点から見



徳村 博紀 議員

質問 障害者の雇用の促進等に関する法律では第43条に「身体障害者及び知的障害者の雇用について、事業主は雇用常用労働者数中に占める割合が一定率以上あるようにしなければならない」と義務を有する」とされている。民間企業で56人以上規模の企業は18%、国・地方公共団体については48%以上規模の機関で2.1%以上となっている。市内での雇用率はそれぞれ何%か。また障害者を雇用された企業に対してどのようなサポートをしているか。

者の雇用率は2.38%となっている。サポートについては当市独自ではないがハローワークが中心となつて法定雇用率以上の雇用については国からの補助金等、また訓練給付費等がある。今後も企業理解を求めている。

循環バスの利用促進を

質問二 現在、循環バスの単月あたりの利用者数・年齢層・利用時間帯をお伺いする。

回答二 十月のべ218人1日平均1.45人、十一月のべ168人1日平均1.17人、60歳以上が78%、内88%が女性となっている。時間帯については午前中の便が多い。

水環境問題 下水道と浄化槽の公平性について



水頭 喜弘 議員

質問一 一軒当たりの下水道料金と浄化槽には2万円近い差があります。保守点検、法定点検、年1回の清掃と浄化槽には7万円近くの維持管理がかかり不公平感が生じます、如何でしょうか。

質問二 農業就業人口は5年前に比べ、減少率が22.4%と過去最大になっており、また平均年齢も65.8歳と26歳上昇しているが鹿島市における状況はどのようになっているのか。

回答二 鹿島市の就農人口の数値がないが県の数値では就農人口が3万3千830人で5年前の調査に比べて1万9千514人減少した。ただ、集落営農の従業員は就農人口には含まれていない。平均年齢は16歳上昇して63.2歳となった。



「新風創造」の新年度予算編成を問う



谷口 良隆 議員

質問一 平成23年度予算は、樋口市政として初めて鹿島市の予算を組むことになる。

併せて、樋口市長が自らの手で策定した第5次総合計画の手始めの予算編成にも当たり、これからの樋口市政を占う意味合いも持っていると思ふ。

樋口市長はその予算編成に当たり、どのような特徴と力点を置こうと考へているのかを伺いたい。

回答一 私は基本路線としている「新風創造」を基に、就任直後から職員への市政方針を示し、7つのプロジェクトを立ち上げて分野ごとの施策の研究も行ってきた。そして今議会でも可決した第5次総合計画がある。



すでに予算編成を始めているが、そうした私の基本的構想のもとに職員が編成作業を積み上げてくれるものと信じている。

要望 (具体性については)今日の段階ではやむを得ないと思ふが、部課長とひざを突き合わせ、新しい市政が読み取れる編成を行ってもらいたい。

鹿島の二次産業行政の方向について、



松本 末治 議員

質問一 「鹿島での新しい特産品づくり」プロジェクトで「みかん」「海苔」が上がっている消費拡大・宣伝の為に「みかんの日」「海苔の日」を制定して市民みんなでやろいさ!が必要では。又、第5次総合計画で、市のイメージづくり「産業祭の実施」が計画されている。市政の区切りとして4年に1回ぐらいの実施が良いと考へるが。

回答二 現在「青森県弘前市で「リンゴの日」が毎月5日に条例で制定されているが今後検討したい。産業祭の実施については、「鹿島市のイメージづくり」が重要であり、市民のみなさんの盛り上がりが必要だ。

有明海の再生



松尾 勝利 議員

質問一 諫早湾干拓事業の訴訟控訴審判決が確定し、開門調査に向けた取り組みが始まる。当地区の漁業は二年続けて不作となり、一刻も早く有明海再生の道筋が示されるよう望むものであるが、今回の一連の動きに対する所見は。

回答二 結審すれば終わりではない。これからである。鍵を握っているのは長崎であり、再生に向けた環境整備が必要。チームを作つて対応すべきである。宝の海を戦いの海にしてはならない。政治主導になるように望む。



一般質問

一般質問

地域経済の再生を特に建設業の再生



中西 裕司議員

【質問】 地域経済の活動は乏しく特に公共事業の抑制は地方の建設業を直撃している。建設業の特性は①受注産業で受注から始まる。②一品生産であり工場生産とは異なる。③経営事項の審査により業種別にランク付けされ会社の能力が決定される。④技術の確保や継承が評価される。⑤景気動向に左右される等厳しい状況である。最低入札価格制度もないのでダンピングが起こり赤字受注が増え品質保証もできない。特に本社のない市外の会社の営業は常識外である。市内の会社の受注機会が乏しく廃業もある。現実には厳しい。その救済策として市内に本社のある企業を優先して指名し受注機会を増やすべきだ。受注できる事で資材の購入、雇用の新規採用確保技術の習得及び継承等また災害等の緊急時は技術が生かされる。真に地域力である。地域が生き残る。その源泉である。

【答弁】 来年度より優先して市内に本社のある会社を指名する。実施するに当たっては市内の会社数等を考慮して対応する。最低入札価格制度については来年度の実態を踏まえ再来年度の検討課題にする。



定住人口確保のための、今後の市の取り組みは



松田 義太議員

【質問】 鹿島市に限ったことではありませんが、急速に進む、人口減少、少子高齢化への対応は、市政運営の重要、かつ緊急な課題であることは、誰もが共通認識としてあるのではないかと思います。そこで、古枝にある雇用促進住宅の活用について、現在入居率は約50%であり、市外からの勤労世代の転入や、子育て世代を支援して、鹿島市の人口増につなげる、即効性のある事業として、この雇用促進住宅の購入、そして、市独自施策を打ち出していくべきと考えるが、現状の取り組み状況は、どのようになっているかお伺い致します。

【答弁】 市としては、古枝の雇用促進住宅を購入の方向で取組んでいます。その活用については、今後、様々な角度から検討していきたいと考えています。



後期高齢者医療制度広域議会報告

県後期高齢者医療広域連合会議員

小池 幸照

平成21年度一般会計及び後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の審査が、去る11月2日に行われました。一般会計では、広域連合事務局の運営経費について構成市町からの事務費負担金を財源としているため、現下の厳しい財政状況を踏まえ、引き続き高率の事務執行による経費節減に努める。次に、特別会計の決算では、歳出総額1千19億1千308万円の黒字であります。保険給付費の支出済額においては、平成20年度に比べ15.2%と大きく増加しております。平成21年度は、後期高齢者医療制度が施行され2年目を迎え制度施行当初のような大きな混乱はなく、落ち着いた運営が行われた。しかしながら、去る平成21年9月の



平成21年度決算審査特別委員長報告

決算委員長 小池 幸照

平成21年度各会計「一般会計歳入歳出決算について」「公共下水道事業特別会計歳入歳出決算について」「谷田工場団地造成、分譲事業特別会計歳入歳出決算について」「国民健康保険歳入歳出決算について」「老人保健特別会計歳入歳出決算について」「後期高齢者医療会計歳入歳出決算について」「給与管理特別会計歳入歳出決算について」の7議案を現地調査を始め、3日間にわたり決算審査特別委員会を開きました。まず始めに財政課長より、主要成果説明書の説明と財政状況の説明があり、その後、監査委員より7会計の決算状況についての説明がありました。

計数については、関係諸帳簿、証拠書類と照合の結果適正に表示され



平成21年度決算反対討論

松尾 征子

アメリカの金融危機から不況の波はとどまるところを知らず日本経済に大きな打撃を与えている。大企業は莫大なため込みをやりながら不況に名を借りリストラにより仕事が住まいが食べるものがないという事態をつくり出した。鹿島市においても同じような事態が。国の制度により短期間の仕事の斡旋もあったが誰もというわけではない。特に「長崎本線守ろう」と市民が一つになって取り組んだ問題が思わぬ方向に進んだ事により市民に不安を与える1年にもなった。この間安い家賃の住宅建設・住宅リフォーム助成制度・国保税の引き下げなど市民の暮らしを守る為の要求を続けたが受け入れられなかった。財政的な理由という事で市民生活を犠牲にすることは許せない。しかし金がないといながら2億6千万円の黒字を出した。年度の予算は市民の為に使い切ることが本来の行政運営。さらに許せないのは、国も終止符を打っている同和行政が改善されていないこと。同和団体には活動費が丸抱えの上。団体補助金が組織数10に対して462万435円も支出されている。

このような不正な行政および財政運営には賛同できない。

報告

議会あれこれ (平成22年10月～12月)

【10月】	16日	有明海沿岸道路西部地区建設促進期成会要望
1日 全員協議会	24日	大分県日出町議会行政視察
市内循環バス出発式	24日	総務建設環境委員協議会
2日 高津原のりあいタクシー出発式		文教厚生産業委員協議会
5日 第13回市町村行政講演会	26日	全員協議会
6日 総務建設環境委員会行政視察(～8日迄)	30日	11月臨時会
第77回九州市議会事務局長会		議会運営委員会
13日 第63回県体記念祭議員野球大会		建設業界と総務建設環境委員協議会意見交換会
14日 佐賀県西部広域環境組協議会視察研修	【12月】	
15日 議会だより編集委員会	2日	市議会12月定例会開会
18日 議会運営委員会	3日	文教厚生産業委員と商工会議所意見交換会
議会だより編集委員会	8日	定例会議案審議
20日 総務建設環境委員勉強会	9日	定例会議案審議
22日 佐賀県市議会議長会第199回正副議長会	10日	議会運営委員会
広域連合協議会議員代表者会議		定例会議案審議
26日 佐賀県西部広域環境組協議会第2回定例会	13日	総務建設環境委員会
27日 九州市議会議長会理事会		文教厚生産業委員会
28日 愛知県豊田市議会行政視察		文教厚生産業委員協議会
31日 定期訪韓事業(～11月2日迄)	15日	定例会一般質問
【11月】	16日	定例会一般質問
2日 佐賀県後期高齢者医療広域連合議会定例会	17日	定例会一般質問
5日 広域行政圏市議会協議会第59回理事会		全員協議会
8日 一般会計・特別会計決算審査特別委員会	20日	定例会一般質問
(現地調査)		議会運営委員会
議会運営委員会	22日	12月定例会閉会
全員協議会		全員協議会
9日 一般会計・特別会計決算審査特別委員会	24日	鹿島小学校(新)北校舎落成式
10日 一般会計・特別会計決算審査特別委員会	27日	議会だより編集委員会
12日 全国市議会議長会理事会		
15日 議会運営委員会		

公表します、 議長交際費

	10月		11月		12月		合計	
区 分	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
弔 意								
見舞い								
祝 儀	1	3,000	1	3,000			2	6,000
会 費	2	7,000			3	13,000	5	20,000
接 遇								
その他					7	21,000	7	21,000
合 計	3	10,000	1	3,000	10	34,000	14	47,000

平成22年度 総務建設環境委員会行政視察報告

総務建設環境委員会

第3セクター青い森鉄道株式会社への行政視察を行った。

現在123名で、最終的には300名程度まで採用を予定している。

営業区間は県境目時・八戸25.9km、所用時間は各駅停車:27分～33分、快速:15分～19分、駅の数7駅となっている。

今後は青森間121.9km、駅の数26駅となり延伸予定である。

この鉄道はもともと物流の為に作られたレールで人が利用する鉄道ではなかった。国が最高の鉄道整備をした為、改良費には他の鉄道整備費よりかなり高額になった。

現在の保有車両は4両(2ユニット)でJRから中古として譲り受けた車両は1ユニット5000万円ということだった。運転方式についてはワンマン運転を採用しているがこの運転方法は高齢者には危ないとの指摘があり、今後アテンダントを採用し常務させる予定。

収支状況については70%の株を保有する県の意向が主となり沿線自治体は株主として出資している。運行に際しての赤字は県が負担する。現在は赤字運営が続いている。

鉄道を有効的に利用する為「わ」(青森県では「わ」とは、私の意味)の鉄道と命名し地域と連携した取り組みに力を入れておられた。

地域と連携した取り組みについては、商品開発・地産地消に特化したコミュニティービジネスの創出と駅舎運営費の捻出。憩いの場・文化に親しむ場。雇用の創出。地域活性化や産業振興の拠点等地域の核となる駅舎づくりを目指している。

このような取り組みにより我々が考えていたイメージとは異なり非常に活発に活動をされていて鹿島市においても見習う点がかなり多かった。非常に充実した研修となった。



総務建設環境委員会

委員長 水頭喜弘
副委員長 徳村博紀
松田義太
松本末治
馬場勉
中西裕司
松尾征子
橋爪敏

平成22年度 鹿島市議会報告会 及び 講演会

鹿島市議会では、昨年10月に制定した、議会基本条例に基づく「議会報告会」と、「鹿島市の将来のまちづくりについて」をテーマに、早稲田大学入江正之教授による**鹿島市民対象**の「講演会」を下記日程により実施します。

市民の皆様のご来場をお待ちしております。

記

日 時 平成23年2月5日(土)

場 所 鹿島市生涯学習センター エイブル
(電話63-2138)

1. 「議会報告会」
14時00分～15時30分

2. 「講演会」
15時30分～17時00分

演題 「鹿島市の将来のまちづくりについて」
(講師) 早稲田大学 入江正之教授

主 催 鹿 島 市 議 会

問合先 鹿島市議会事務局
TEL 63-2104 FAX 63-2314
E-mail : gikai3@city.saga-kashima.lg.jp



*この議会だよりは、全て原稿提出者の責任により編集されています。

【編集委員】
委員長 馬場 勉
副委員長 松尾 勝利
委員 橋川 宏彰
松尾 征子

明けましておめでとうございます。平成23年が明け、新たな気持ちでこの激動の年を如何に乗り切るか考えているところです。市の人口も3万人を切る勢いで少子高齢化が進む中、中長期的展望を見据えて「鹿島市第五次総合計画」がしっかりと進行していくことを願いたい。市民の皆様の大きな協力も必要になると思います、本年もよろしくお願い申し上げます。

編集後記